リハビリ　広報だより

第 31 号　令和５年２月　発行

立春も過ぎ、暦の上では春を迎えました。寒さと共に乾燥しやすい毎日が続いています。こまめに水分補給をし、引き続きコロナ対策を行ない、元気に過ごしていきましょう。

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。昨年度もコロナ禍で、感染対策を行なった上でのリハビリ提供となりました。患者様には多大なご協力を賜り、誠にありがとうございました。令和５年は兎年、スタッフ一人一人が新たに目標を掲げ、日々の業務に取り組んでいきたいと思います。

今年度もリハビリテーション科内全体で勉強を重ね、リハビリの質が向上するよう努めていきます！！今年もよろしくお願い致します。

物品紹介

DLM ペグボード

ペグと呼ばれる積み木のような細かいピースを、穴の空いた板に差し込んでいく道具です。

【DLM ペグボードの使用目的は幅広い！！】

指で摘む・細いペグを穴に合わせて操作する動きから”**指先の機能向上**“を目的として主に使用しています。また、セットの図案を見て色・形・位置を判別して同じ様に差し込むことで、”**認知機能や集中力・注意力向上**“に繋がります。

図案は難易度別にレベル１～８まであり、簡単なものは認知症の患者様、難しいものは高次脳機能に低下がある若い患者様など、機能に応じて訓練が進められます。

役職者コラム　～PT 副主任　栗山　圭介～

皆さん、こんにちは。理学療法士９年目の栗山圭介です。現在は**循環器病棟の責任者**と**外来リハビリ**、**科内新人教育部**という毎年入職してくる新入職員教育の責任者を任せて頂いており、周囲のスタッフの協力を得ながら日々の業務にあたっています。

新入職員がどうしたら如何に早く仕事を覚えられ、医療技術と自覚を持ったセラピストになっていけるのか。指導役の先輩達、新人教育部のスタッフと共に指導方法や解決策を模索し、一日でも早く皆さんの力になれるよう新入職員の成長を見届けています。

また、これまで多岐にわたる疾患や症状のリハビリに携わってきた中で心臓について知識を深めていきたいと考えるようになり、昨年「**心臓リハビリテーション指導士**」という資格を取得しました。この資格は心臓病を有した方が、どのようにして心臓病とうまく付き合っていくか。一人一人の生活やその方の役割を理解し、どの様な生活や運動をしていけば心臓をこれ以上悪くせずに済むのかなど、専門的な知識や経験を活かして患者様に還元でき、他職種（医師・看護師・管理栄養士・薬剤師など）の方とも対等に話せる資格だと考えています。資格取得にあたって得たことを無駄にせず、リハビリの中で皆さんに還元できるよう日々努力していきます。

入職して１年経ちました！！

入職してから日々学ぶことばかりですが、先輩方にご指導いただきながら少しずつ自分で治療することが出来るようになりました。また同じ病気であっても抱えている不安や目標は患者様それぞれであるという事を改めて感じた１年でした。まだまだ力不足ですが、技術を培って患者様に寄り添えるセラピストになれるよう頑張っていきます！！

４階病棟
PT 甲野藤　汐音

入職してから今まで自身の力だけで解決できないことがたくさんありました。しかし先輩方から指導して頂き、実際に患者様へ還元出来た時はとてもやりがいを感じます。初めてのリハビリでは患者様も不安はあると思いますが、患者様の心に寄り添って、１つ１つ一緒に解決していけるように精一杯頑張ります！

外来
PT 高澤　佑貴

イムス太田中央総合病院　リハビリテーション科
〒373-851 群馬県太田市東今泉町 875-1　TEL0276-37-2378